

～福祉体験学習メニュー～

☒福祉の話（ユニバーサルデザイン含む）

必須

☐ボランティアの話

☐高齢者擬似体験及び介助体験

☐妊婦体験及び介助体験

☐車いす体験及び介助体験

☐視覚障がい者体験及び介助体験

☐点字学習（点字・点訳授業）

☐当事者による講話（視覚・聴覚）

☐福祉車両の使い方講座

☐その他



福祉体験学習は、年齢、性別、個人の能力差、国籍など、さまざまな特性や違いを超えて、すべての人に配慮したまちづくり、ものづくりなどを行う考え方を学ぶ福祉の話（ユニバーサルデザイン）を軸に、各種体験学習を実施します。

社会福祉協議会は、各種体験学習を通して、自分達に何ができるのか、これからの自分達の活動について考えるきっかけを作るお手伝いをします。



伊勢市ボランティアセンター（伊勢市社会福祉協議会）

【福祉体験学習の申込み方法】

申込みから実施までの流れ



① 事前相談

伊勢市ボランティアセンター（伊勢市社会福祉協議会）及び各分室の担当職員が学習内容や実施日等のご相談に応じます。



② 事前打ち合わせ

必要に応じて、本会の担当職員が実施場所の確認へ行かせていただき、学校担当者と本会担当職員とで事前打ち合わせを行わせていただきます。



③ 【福祉体験学習講師派遣依頼兼物品借用書】の提出

福祉体験学習実施希望日の 1 週間前までに必ず伊勢市ボランティアセンター（伊勢市社会福祉協議会）及び各分室へご提出をお願いいたします。



④ 福祉体験学習の実施

私たちは福祉体験学習の内容を充実させたいと考えており、先生方のお考えや思いがヒントになります。ご意見等お聞かせいただくと幸いです。

【福祉の話（ユニバーサルデザイン含む）】

「ふくし」とはどのようなものか、身近なふくしを知る入口としてユニバーサルデザインの話を交えながら講話をします。そして、普段の生活について改めて考えなおすと共に、普段の生活の中でも他人のことを考え、譲り合いの気持ちを持ち心のバリアフリーへとつなげます。

☆体験項目

- ・「ふくし」ってなあに？
- ・実際にユニバーサルデザインが用いられている物に触れてみる
- ・各種体験の事前学習



【ボランティアの話】

「ボランティア」とはどのようなものか、これからボランティア活動を始めようとする人やボランティアに関心のある人に、自分に合った「ボランティア」を見つけてもらうことを目的に講話をします。「ボランティア」の定義や歴史、実際の活動内容をパワーポイントでご紹介します。

☆体験項目

- ・はじめてみようボランティア



【高齢者擬似体験及び介助体験】

高齢者体験装具を装着し、体の重さ、肘や膝の動きにくさのほか、白内障とほぼ同じように見えるメガネを使って目の衰えを体験します。そして、加齢に伴う筋力低下や視覚障がいを経験することで、高齢者の身体状況を理解し、自分達にどのようなサポートができるのかを考えるきっかけとします。

☆体験項目

- ・ 階段の昇降
- ・ 校内の掲示物等を見て、目の見え方を確かめる
- ・ 校内を歩く（段差やトイレ、入口など）



【妊婦体験及び介助体験】

体験グッズを用いて、腰やお腹の身体状況等、妊婦の特徴を理解し、学校や地域で一人ひとりがどのように妊婦と接していけばいいのかを考えるきっかけとします。

☆体験項目

- ・ 校内を歩く（段差やトイレ、入口など）



【車いす体験及び介助体験】

車いすの説明をした後に、実際に車いすに乗って自走体験をし、段差などを体験します。また、車いすを押す介助体験をし、車いすのサポート方法を学びます。自走体験と介助体験の双方を経験することで、車いすを利用している人の気持ち

ちを理解し、バリアフリーや自分達に何ができるのかを考えるきっかけとします。

☆体験項目

- ・ 車いすのたたみ方、ひろげ方
- ・ 車いすの押し方（声かけ）
- ・ ブレーキの操作方法
- ・ 段差や溝の越え方、坂道の上下り、屋外の歩道での進み方



【視覚障がい者体験及び介助体験】

二人一組でペアを組み、一人がアイマスクをして視覚障がい者の体験を、もう一人が介助の体験をします。途中で交代し、両方の立場を体験します。視覚障がい者の気持ちを感じ、生活上の不便を知ることで、介助の仕方、声かけ方法、基本的なことを身につけ、今後の視覚障がい者との接し方について学び、視覚障がい者への理解とこれからの自分達の活動を考えます。

☆体験項目

- ・ 平地での歩行（声かけ）
- ・ 階段の昇降
- ・ 椅子に座る

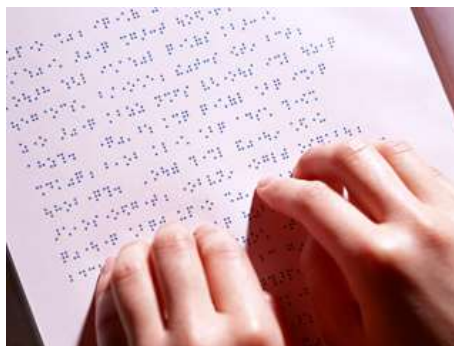


【点字学習（点字・点訳授業）】

「私達の身近などんなところで点字が使われているの?」「点訳をするときのルールは?」などの点字についての学習をし、視覚障がい者と地域社会への関心を育てることを目指していきます。

☆体験項目

・点字、点訳授業



【当事者による講話（視覚・聴覚）】

福祉体験学習を深める上では、当事者の方々の話や体験を聴くことが大切です。当事者の方々の今までの体験や生きてきた歴史を知ること、尊厳を育み交流することができます。

☆体験項目

- ・目の見えない人や耳の聞こえない人から、「見えないということ、聞こえないということはどういうことか?」、「どのような生活をしているのか?」、「伝える気持ちの大切さ」などの話を聞き、視覚障がい者や聴覚障がい者についての理解を深める



【福祉車両の使い方講座】

伊勢市ボランティアセンター地域貢献登録企業である「三重ダイハツ販売株式会社」のスタッフによる福祉車両「タントスローパー」を用いた車いすの乗降体験を行います。介護する側とされる側を交代して体験することで、介助方法や介助を必要とする方の気持ちを理解し、また福祉車両の正しい使い方を学ぶことができます。

☆体験項目

- ・ 車いすの押し方（声かけ）など介助方法
- ・ 福祉車両の正しい使用方法



【その他】

上記の体験メニュー以外で何かご要望等がございましたら、お気軽に伊勢市ボランティアセンター（伊勢市社会福祉協議会）及び各支所までお問い合わせください。

◆お願いごと◆



福祉体験学習は当事者への理解を深める効果的な学習です。しかし、目的をどのように設定するので意味合いは大きく変わります。例えば、単に「車の押し方を学ぶ」のが目的ではなく「障がいのある方の生き方にふれる」や「優しい心を育てる」ことを目的としているはずです。福祉体験学習は、このような目的を達成するための手段であって、福祉体験学習自体が目的ではないこと、そして本来の目的を達成する上で、当事者の方からお話を聴くことも重要だと考えておりますので、ぜひそのような視点で福祉体験学習を活用していただけますようお願いいたします。

伊勢市ボランティアセンター（伊勢市社会福祉協議会）

伊勢市八日市場町 13-1（福祉健康センター1 階）

TEL：0596-63-6370 FAX：0596-27-2412

E-mail：ise-vc@mie.email.ne.jp



二見支所 TEL：0596-43-5551 FAX：0596-43-4427

小俣支所 TEL：0596-27-0509 FAX：0596-27-0570

御薗支所 TEL：0596-22-6617 FAX：0596-22-6604